MITSUBISHI ELECTRIC

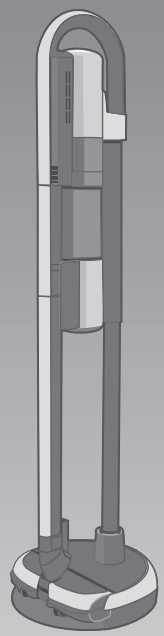
三菱コードレススティッククリーナー（家庭用）

取扱説明書

形名

エイチ シー ジェイディー エックス
HC-JD2X

（ブラシ自走機能 毛がらみ除去機能 パワーブラシ ふとんブラシ付き）



- ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- 「保証書」は「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
- 「取扱説明書」と「保証書」は、大切に保存してください。

※この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

イラストは説明イメージです。実際とは多少異なります。

もくじ

ページ

使うまえ

特長 …… 2
安全のために必ずお守りください …… 4
各部のなまえ …… 8
準備する（充電する・収納する）…… 10

使いかた

お掃除する …… 12
上手なお掃除 …… 14
ゴミをすてる …… 16

お手入れ

- サイクロンボックス …… 18
- パワーブラシ …… 20
- ふとんブラシ …… 22
- 本体・充電台 …… 23
- 充電端子部 …… 23
- 毛ブラシ・ロングノズル・サッシノズル …… 23

こんなとき

故障かな？と思ったら …… 24
- クリーナーの保護装置について …… 26

バッテリーの交換を依頼する …… 27
製品を廃棄する（バッテリーを処分する）…… 27
保証とアフターサービス …… 30
消耗部品 …… 31
仕様 …… 31

製品登録のご案内

三菱電機のウェブサイトで「製品登録」いただくと、製品に関するお役立ち情報をメールやウェブサイトでご紹介します。

三菱電機製品登録　検索

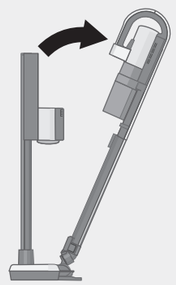
特長

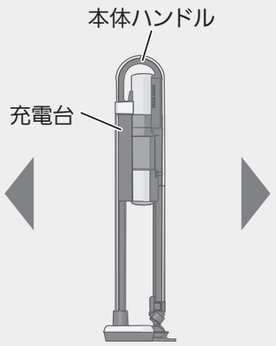
ワンタッチ着脱でサッとお掃除 P10~11

充電台からはずす　ワンタッチでスティックにもハンディにも。

スティックで使う

充電台を手で押さえながら、
本体ハンドルを持って手前に引く

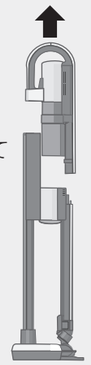




ハンディで使う

充電台を手で押さえながら、
本体ハンドルを持って
まっすぐ持ち上げる

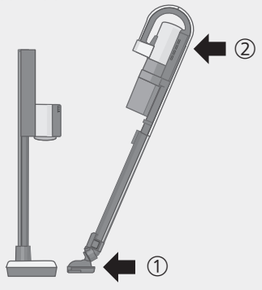
● 必ずパワーブラシまたは
毛ブラシなどを取りつけて
お掃除してください。

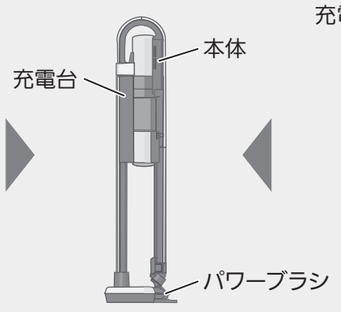


収納（充電）する　充電台にクリーナーを簡単にセット。

スティックの収納（充電）

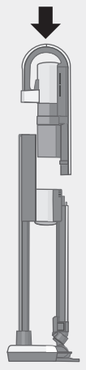
①パワーブラシを奥まで押し込む
②充電台を手で押さえながら、
本体を押し込む





ハンディの収納（充電）

充電台を手で押さえながら、
本体をまっすぐ
充電台に押し込む

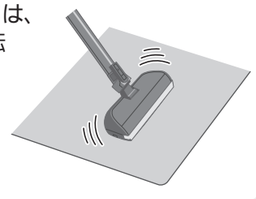


「自動」運転で効率よくお掃除 P12

パワーブラシでお掃除中、床面に合わせて吸込力を自動でコントロールします。

● フローリングなどのときは、
吸込力を抑えて運転
（「標準」運転）

● じゅうたんなどのときは、
吸込力を強くして運転
（「強」運転）



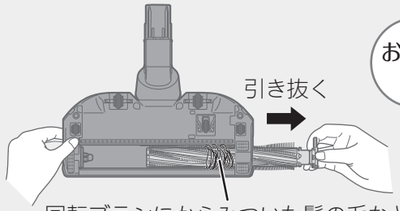
パワーブラシ

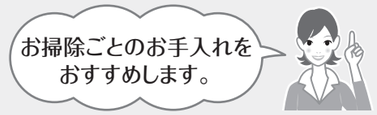
■ブラシ自走機能

回転ブラシの回転力により、じゅうたん上でも軽い操作でお掃除できます。
（ただし、毛足の長いじゅうたんや薄いマットの上では、
ブラシ自走機能が発揮されないことがあります）

■毛がらみ除去機能

回転ブラシを引き抜くだけで、回転ブラシにからみついた髪の毛などを
除去します。簡単にお手入れできるので、清潔にお使いいただけます。

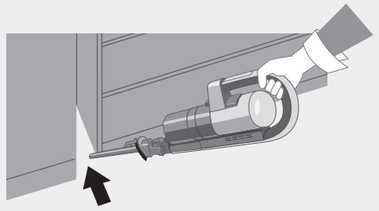




回転ブラシにからみついた髪の毛などが取れます。

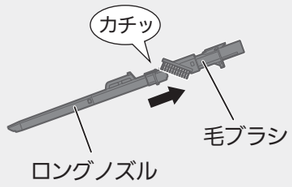
ロングノズルですき間もしっかりお掃除

家具の狭いすき間などに
たまったゴミやホコリを
ロングノズルでしっかり吸引。

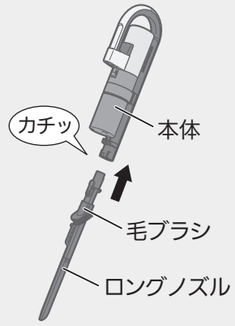


ロングノズルの取りつけかた

①毛ブラシにロングノズルを
差し込む

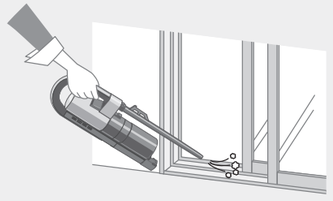


②毛ブラシ＋ロングノズルを
本体に取りつける



エアブロー機能でゴミを一掃 P15

排気口から出る風を利用したエアブロー機能で、
あきらめていた家具のすき間などもキレイに。
吸い込みたくない砂ボコリなどを
掃き出してスッキリ。



安全のために必ずお守りください① ＜クリーナー・充電台について＞

■お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

⚠危険	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があり、その切迫の度合いが高いもの。
⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

■本文中や本体に使われている図記号の意味は下記のとおりです。

禁止	指示を守る	指を挟まないよう注意（パワーブラシ表示）

⚠警告 火災・やけど・感電などを防ぐために

禁止

■引火性のあるものや火気のあるもの・液体を吸わせない
（灯油、ガソリン、シンナー、ベンジン、トナーなどの可燃物、たばこの吸いがら、水、飲みものなど）
〔火災・感電の原因〕

■改造しない、分解・修理しない
〔火災・感電・けがの原因〕
修理は、お買上げの販売店または、「三菱電機 修理窓口」にご相談ください。

■廃棄時以外はバッテリーを取り出さない
〔火災・感電・けがの原因〕
バッテリー交換は、お買上げの販売店または、「三菱電機 修理窓口」にご相談ください。

■運転中は回転ブラシや回転ストッパーに触れない
〔けがの原因〕
特にお子さまにご注意ください。

■電源コードを回転ブラシに巻き込まない
〔電源コードがいたみ、感電の原因〕

■水洗いしない、風呂場などでは使わない
〔感電の原因〕
（サイクロンボックス・パワーブラシの回転ブラシ・毛ブラシ・ロングノズル・ふとんブラシ・サッシノズルのみ洗えます）

■電源プラグをぬれた手で抜き差ししない
〔感電・けがの原因〕

■いたんだ電源コードや電源プラグ、差し込みのゆるいコンセントは使わない
〔感電・ショート・発火の原因〕

■電源コードや電源プラグを傷つけない
（傷つけない・無理に曲げない・引っ張らない・ねじらない・束ねない・重いものをのせない・はさみ込まない・加工しない）
〔破損して、火災・感電の原因〕

指示を守る

■電源は交流100Vのコンセントを使う
〔100V以外で使うと、感電・ショート・発火の原因〕

■電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
〔差し込みが不完全だと、感電・ショート・発煙・発火の原因〕

■本体のお手入れのときは、運転を止める
〔感電・けがの原因〕

■充電台のお手入れのときは、電源プラグを抜く
〔感電・けがの原因〕

■電源プラグのホコリなどは定期的に乾いた布でふき取る
〔ホコリなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因〕

■乳幼児の手の届かないところに設置し、お子さまがいたずらしないようにする
〔感電・けがの原因〕

■異常・故障時には直ちに使用を中止する
- スイッチを入れても、運転しない
- 電源プラグやコードを動かすと、通電したりしなかったりする
- 運転中、時々止まる
- 運転中、異常な音がする
- 本体が変形したり、異常に熱い
- こげくさいにおいがする
- その他の異常や故障がある

〔発煙・発火・感電・けがの原因〕
すぐにスイッチを切り、電源プラグを抜いてから、販売店にご相談ください。

⚠注意 火災・感電・けがなどを防ぐために

禁止

■火気に近づけない
〔本体の変形によるショート・発火の原因〕
〔排気でストーブの火などが大きくなり、火災の原因〕
〔バッテリーが発熱・破裂・発火する原因〕

■吸込口をふさいで長時間運転しない
〔発火の原因〕

■排気口をふさがない
〔発火の原因〕

■パイプ・本体のピン穴・吸込口・本体のすき間に針金・金属物などを入れない
〔感電・けがの原因〕

■ガソリン・ベンジン・シンナーなど、引火性のものの近くで使わない
〔爆発・火災の原因〕

■本体・パイプが床面に接した状態で掃除しない
〔床面などに傷がつく原因〕

■クリーナーと充電台を一緒に持ち運ばない
〔落下して、けがや床面などに傷がつく原因〕

■本体ハンドル以外を持って本体を持ち運ばない
〔落下して、けがや床面などに傷がつく原因〕

■ふとんブラシでふとん以外を掃除しない
〔床面などに傷がつく原因〕

■クリーナーを壁などに立てかけない
〔転倒して、けがや床面などに傷がつく原因〕

設置について

■不安定な場所に設置しない
〔転倒により破損して、けがや床面などに傷がつく原因〕
特にお子さまにご注意ください。

エアブロー機能使用時

■ストーブや火に向けて使わない〔火災・けがの原因〕

■人に向けて使わない〔けがの原因〕

■ロングノズルの先端を家具などにぶつけない〔家具などに傷がつく原因〕

パワーブラシについて

■車輪・回転ストッパー・ふきブラシ・フェルト部などが摩耗したまま使わない
〔床面などに傷がつく原因〕

■車輪などに髪の毛などがからみついたまま使わない〔床面などに傷がつく原因〕

■横やななめに引きずったり、壁・床面などに強く押しあてたりしない
〔床面や家具などに傷がつく原因〕

指示を守る

■電源コードは電源プラグを持って抜く
〔感電やショートして発火・火災に至る原因〕

■長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く
〔絶縁劣化による感電・漏電火災の原因〕

■サイクロンボックスを取りつけて運転する
〔内部にホコリが入りやすくなり、火災・感電の原因〕

■クリーナーを充電台にセットするときは、パイプ・パワーブラシを取りつける
〔落下して、けがや床面などに傷がつく原因〕

プリーツフィルター・プレフィルターについて

■必ず取りつけて運転する
■お手入れ（水洗い）後は十分に乾燥させる
■破損した場合は交換する
〔モーターや制御回路の発煙・発火の原因〕

安全のために必ずお守りください② ＜バッテリー（電池）について＞

危険 発熱・破裂・発火・感電による事故や大けがを防ぐために

禁止

■改造・分解しない
〔発熱・破裂・発火の原因〕

■釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしない
〔発熱・破裂・発火の原因〕

■火のそばや、炎天下の車中などで使わない
〔発熱・破裂・発火の原因〕

■ストーブなどの熱源のそばに放置しない
〔発熱・破裂・発火の原因〕

■火の中に投入したり、加熱したりしない
〔発熱・破裂・発火の原因〕

■強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない
〔発熱・破裂・発火の原因〕

■充電端子部を金属などで接続しない
〔発熱・破裂・発火の原因〕

■指定機器以外の用途に使わない（バッテリーはHC-JD2X専用です）
〔発熱・破裂・発火の原因〕

■水・海水・ジュースなどで濡らさない
〔発熱・破裂・発火の原因〕

■指定以外の充電器で充電しない
〔発熱・破裂・発火の原因〕

■充電台を介さずに直接電源コンセントや自動車のシガレットライターの差込口に接続しない
〔発熱・破裂・発火の原因〕

警告 発熱・破裂・発火・感電による事故や大けがを防ぐために

禁止

■充電・保管時の異臭・発熱・変色・変形など、今までと異なることに気づいたときは使わない
〔発熱・破裂・発火の原因〕

■ご使用済のバッテリーは一般家庭ゴミとしてすてない
〔すてられたバッテリーがゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙になる原因〕
- バッテリーを処分する P27~29

指示を守る

■充電時、所定の充電時間を大幅に超えても充電が完了しない場合は、電源プラグを抜く
〔発熱・破裂・発火の原因〕

■バッテリーが漏液したり、異臭がしたりするときには直ちに火気より遠ざける
〔発熱・破裂・発火の原因〕

■バッテリーが漏液して目に入ったときは、こすらずにきれいな水で洗い、直ちに医師の治療を受ける
〔放置すると液により、目に障害を与える原因〕

注意 火災・感電・けがなどを防ぐために

禁止

■直射日光の当たる場所、炎天下の車内など、高温になるおそれがある場所に放置しない
〔発熱・発火・漏液する原因〕

指示を守る

■室温約5℃～約35℃の範囲で使う
〔発熱・発煙・破裂・発火の原因〕

製品廃棄時 P27~29

■バッテリーの金属端子部が露出したものは、ビニールテープなどで必ず絶縁する
〔ショートにより発火・発煙の原因〕

■バッテリーが漏液して皮膚や衣服についたときは、直ちにきれいな水で洗い流す
〔皮膚がかぶれたりする原因〕

使うまえ

故障などを防ぐために

この製品は家庭用です。業務用として使用しないでください。
また、次のことをお守りください。

■パイプなどのピンにさわらない

■吸込口・パイプの先で吸わない（付属のブラシ・ノズルなどをつけて使用する）

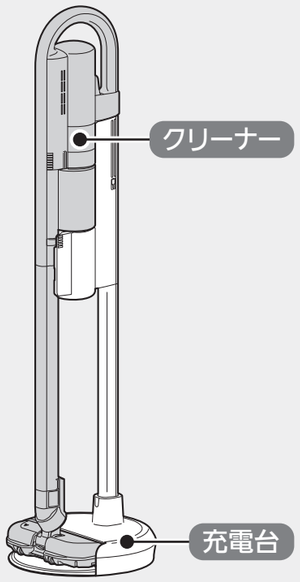
■殺虫剤、消臭剤などをかけない

■エアブロー機能をお掃除以外の目的に使わない

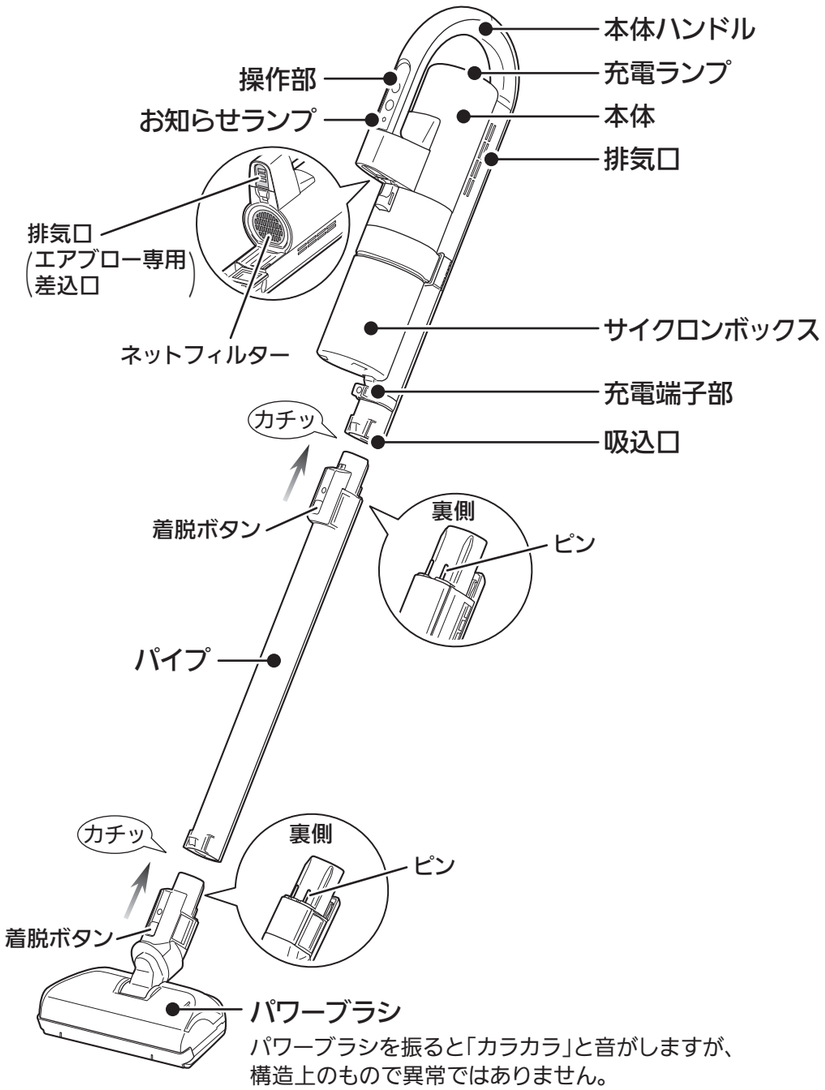
■次のようなものは吸わせない
〔故障や詰まり、異臭の原因〕
- 水などの液体や、湿ったゴミ
- ガラス、ピン、針、つま楊子、綿棒
- 多量の砂や粉（ペット用砂・パウダー状の粉など）
- 除湿剤（湿気取り）
- ペットなどの排泄物が付着したもの
- くつした、ティッシュペーパー、ビニール袋、長いひも
- カーペットのふさなど

各部のなまえ

- パイプ・パワーブラシ・毛ブラシ・ふとんブラシは、「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。
- はずすときは、着脱ボタンを押しながら抜いてください。



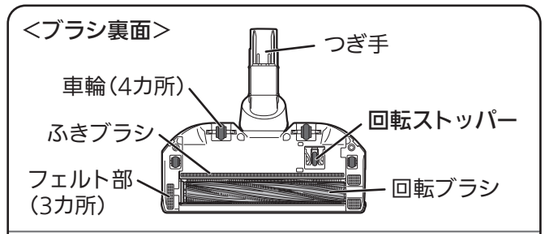
クリーナー



パワーブラシを振ると「カラカラ」と音がしますが、構造上のもので異常ではありません。

ふとんブラシ

スティックでもハンディでも取りつけれらます。

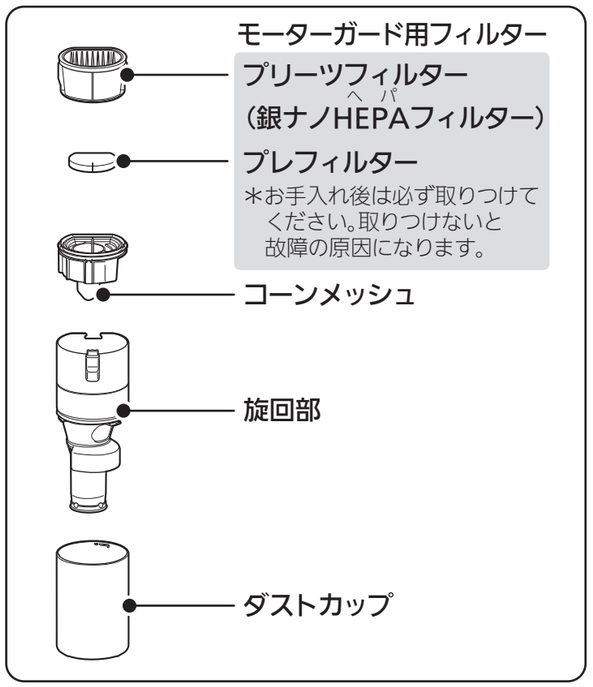


「回転ストッパー」は、パワーブラシを床面から浮かせると、安全のために回転ブラシの回転を止める機構です。

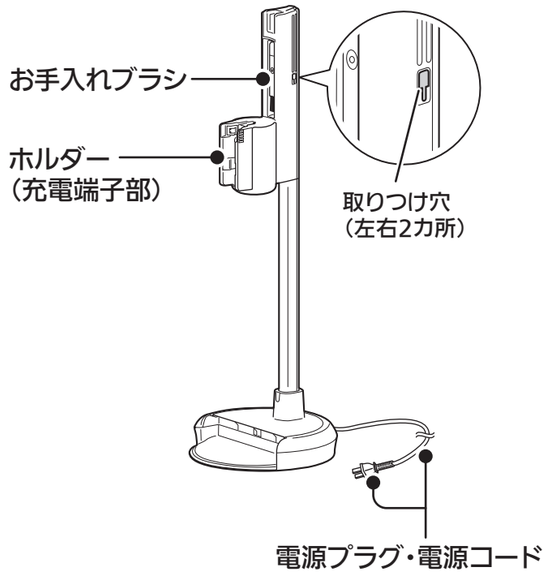
お知らせ

- 製品の一部に樹脂の色が変化して見える箇所がありますが、素材の見えかたによるもので、品質上問題はありません。
- 排気口以外のすき間から、モーターの熱で暖められた空気が出ます。
- 夏場などは、本体・排気の温度が熱く感じることがあります。
  →異常ではありません。

- ゴミをすてる P16~17
- お手入れ P18~19

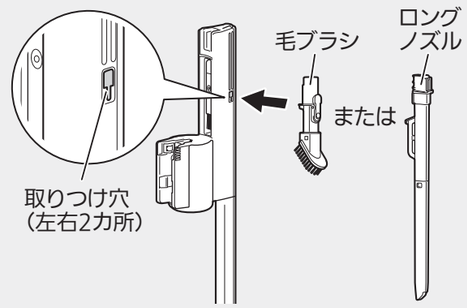


充電台



毛ブラシ・ロングノズルの収納

取りつけ穴に毛ブラシまたはロングノズルを取りつける



付属品

標準付属品

パワーブラシ(1個)　パイプ(1本)

応用付属品 お掃除場所に合わせてご使用ください。P14~15

毛ブラシ(1個)　ロングノズル(1個)　ふとんブラシ※(1個)　サッシノズル※(1個)　ロングホース※(1本)　付属品収納袋(1枚)

充電台に装着済み

お手入れブラシ(1個)

※付属品収納袋をご活用ください。

準備する（充電する・収納する）

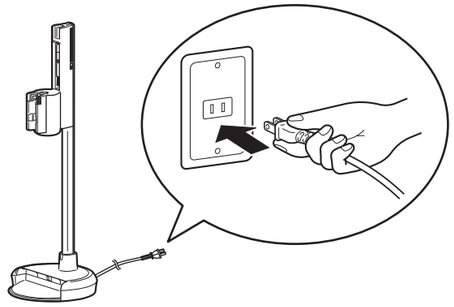
1 充電台を設置する

- 水平で安定した場所に設置する
  （倒れたときに周囲の物が破損しない場所を選んでください）
- 室温約5℃～約35℃の場所に設置する

設置について知っておいていただきたいこと

- 直射日光が当たっている場所や暖房器具の近くに設置しないでください。
  〔変形・変色・変質の原因〕
- テレビやラジオにノイズが入ったときや、電波時計が正しい時刻を表示しないときはできるだけ離して設置してください。
  また、それらの機器と同じコンセントに電源プラグを差し込まないでください。

2 電源プラグを差し込む



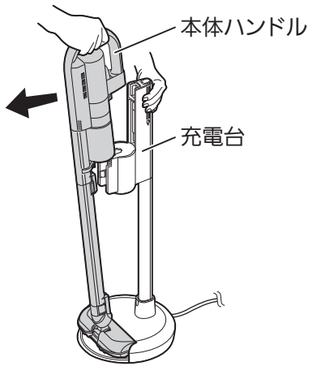
お知らせ
電源プラグを差し込んだときに火花が出る場合があります。
（本体内部の電気部品に充電するための電気が流れるためです。異常ではありません。）

おねがい
- 必ず充電台を設置してから、クリーナーをセットしてください。
- 移動するときは、充電台とクリーナーは別々に持ち運んでください。
  充電台とクリーナーをセットした状態で持ち運ぶと、クリーナーが充電台からはずれて落下する原因になります。

クリーナーを充電台からはずすとき

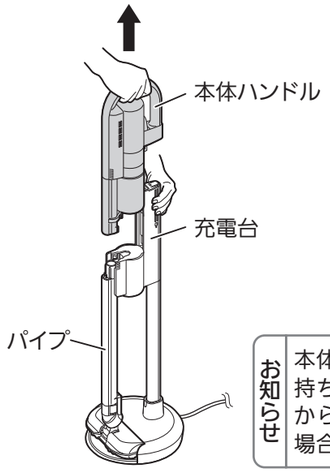
スティックで使う

充電台を手で押さえながら、
本体ハンドルを持って手前に引く



ハンディで使う

充電台を手で押さえながら、
本体ハンドルを持ってまっすぐ持ち上げる



お知らせ
本体ハンドルをまっすぐ持ち上げないと、充電台からパイプがはずれる場合があります。

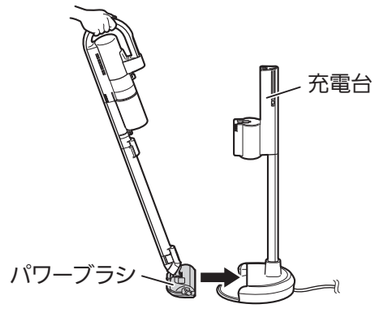
⚠注意
指示を守る
クリーナーを充電台にセットするときは、パイプ・パワーブラシを取りつける
〔落下して、けがや床面などに傷がつく原因〕

3 クリーナーを充電台にセットして充電（収納）する

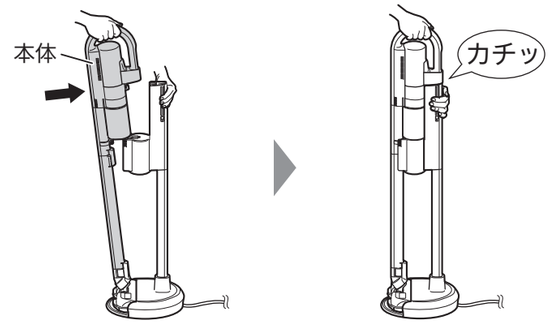
- 工場出荷時はバッテリーが充電されていません。
  ご使用の前に、必ず本体の充電ランプが消灯（満充電）するまで充電してください。
- 満充電にした後も、電源プラグを差したままにしてください。定期的に補充電をします。

スティックの充電（収納）

①パワーブラシを
充電台の奥まで押し込む

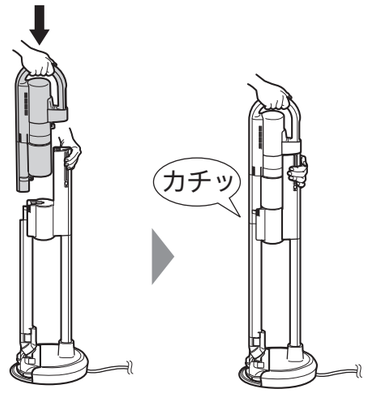


②充電台を手で押さえながら、本体を押し込む
- 充電ランプ（青）が点灯していることを確認してください。

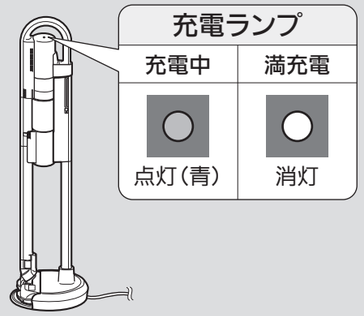


ハンディの充電（収納）

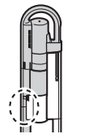
充電台を手で押さえながら、
本体をまっすぐ充電台に押し込む
- 充電ランプ（青）が点灯していることを確認してください。



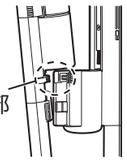
- クリーナーを充電台にセットすると、充電ランプ（青）が点灯し、充電を開始します。
- 充電が完了すると、充電ランプ（青）が消灯します。
- 充電時間は約90分です。
  （室温やバッテリー残量によって変化します）
- 充電完了後、充電台からクリーナーをはずし再度セットすると充電ランプ（青）が点灯しますが、異常ではありません。



おねがい
- クリーナーを充電台にセットしても、充電ランプが点灯しないときは、本体とパイプの接続部を充電台に押し込んでください。
- クリーナーを充電台にセットするときは、手を挟まないように気をつけてください。
- 長期間使用しないで保管するときは、電源プラグを抜いてください。



お知らせ
- 充電時間や運転時間はバッテリー残量や周囲の環境で変化する場合があります。
- 充電中に本体や充電台が熱くなりますが、異常ではありません。
- 充電完了直後は、本体・充電台・充電端子部が熱くなる場合がありますが、異常ではありません。



お掃除する

1 運転を始める

を押す

- お知らせランプ（橙）が点灯し、「自動」運転で始まります。

■吸込力を変えるとき

を押す

- 押すごとに、「自動」「標準」「強」運転が切換わります。

「自動」運転について

パワーブラシでお掃除中、床面に合わせて吸込力を自動でコントロールします。
パワーブラシ以外を取りつけているときは、「標準」運転で運転します。

- フローリングなどのときは、吸込力を抑えて運転（「標準」運転）

- じゅうたんなどのときは、吸込力を強くして運転（「強」運転）

おねがい
お掃除のしかたや床面の種類によっては
- 同じ床面をお掃除していても、吸込力が切換わることがあります。
- 「自動」運転が働かない場合があります。

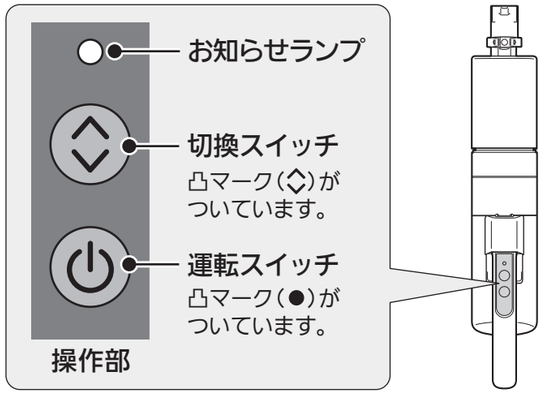
気になる場合は、「標準」または「強」運転に切換えてください。

2 運転を止める

を押す

- お知らせランプが消灯し、運転が止まります。

3 充電する P11



お知らせランプ

点灯（橙）	「自動」運転でお掃除中
点灯（緑）	「標準」「強」運転でお掃除中
点滅（橙または緑）	バッテリー残量が少なくなっています。充電してください。P11
点滅（赤）	お手入れ時期です。 ● 運転を止めてからダストカップのゴミをすて、プリーツフィルター・プレフィルターをお手入れしてください。P16~19 ● 吸込口・パイプ・パワーブラシ・ロングノズル・ロングホースにゴミが詰まっている場合は、取り除いてください。P24

お知らせ
- この状態で運転を続けると、保護装置が働き運転が止まります。P26
- ダストカップのゴミすてラインよりゴミが少なくても、ゴミの種類によっては、お知らせランプ（赤）が点滅することがあります。

運転時間のめやす
（バッテリー初期・室温20℃・満充電の場合）

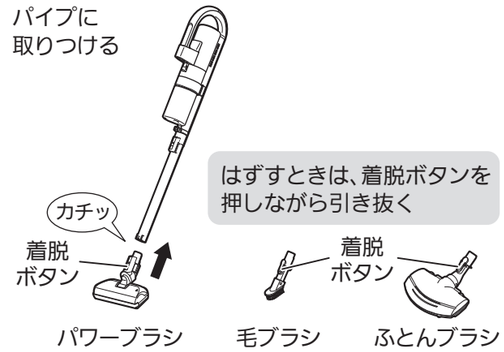
自動	約8分～約40分
標準	約40分
強	約8分

※ご使用方法や周囲の環境によって変化します。

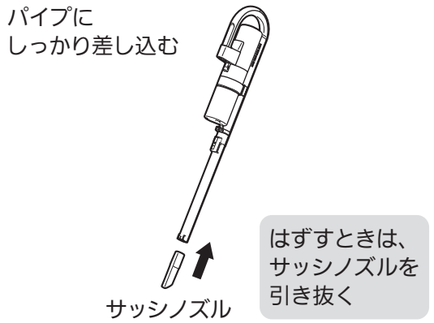
お掃除を始める前に、大きめのゴミ（お菓子の包装紙など）は拾ってください。
吸込口・パイプ・パワーブラシの風路に詰まる原因になります。

スティックで使う

パワーブラシ/毛ブラシ/ふとんブラシを取りつける

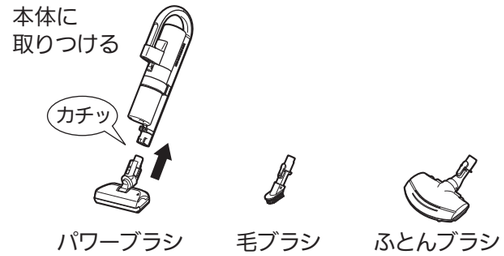


サッシノズルを取りつける

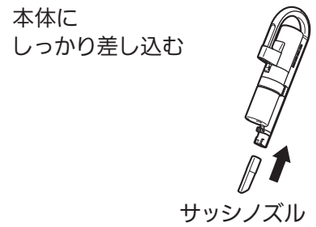


ハンディで使う

パワーブラシ/毛ブラシ/ふとんブラシを取りつける

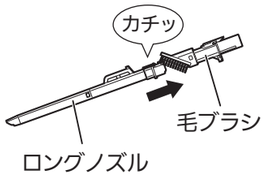


サッシノズルを取りつける



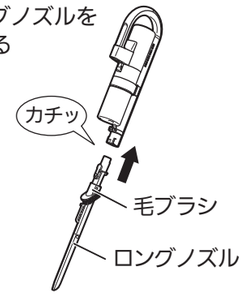
ロングノズルを取りつける

①毛ブラシにロングノズルを差し込む



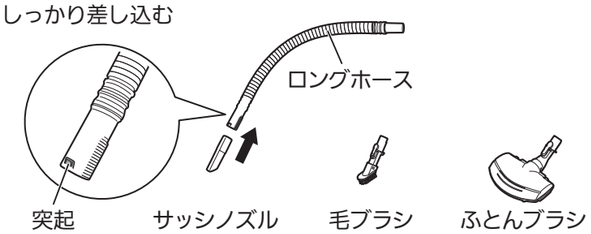
ロングノズルをはずすときは、毛ブラシからロングノズルを引き抜く

②毛ブラシ＋ロングノズルを本体に取りつける



ロングホースを取りつける

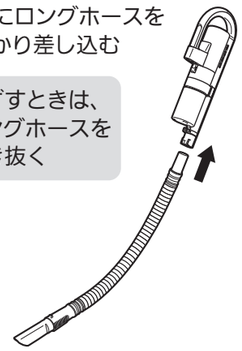
①ロングホース（突起側）にサッシノズル/毛ブラシ/ふとんブラシをしっかり差し込む



毛ブラシ・ふとんブラシを取りつけるときは、ロングホースの突起を上面にして差し込む

お知らせ
ロングホースにパワーブラシ・パイプは取りつけられません。

②本体にロングホースをしっかり差し込む



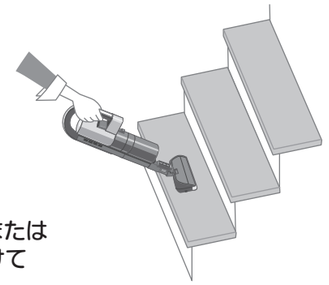
はずすときは、ロングホースを引き抜く

上手なお掃除

■お部屋を整とんしてからクリーナーを使用すると、手際よくお掃除でき、電気のムダを省けます。
■お掃除の場所ごとに付属品を使い分けてお掃除しましょう。
■エアブロー機能を活用すると、パワーブラシが入らない狭い場所のホコリやゴミなどを掃き出して取り除くことができます。
デリケートな家具やピアノなどの光沢のあるところには使わないでください。

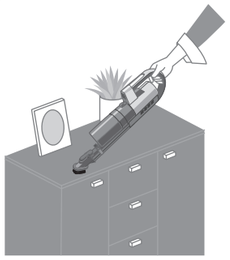
⚠注意 禁止 クリーナーを壁などに立てかけない
〔転倒して、けがや床面などに傷がつく原因〕

階段



●パワーブラシまたは毛ブラシをつけて

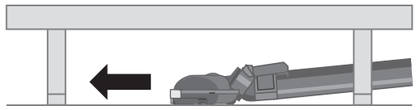
チェスト・机の上など



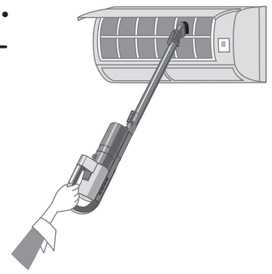
●毛ブラシをつけて

ベッドやソファーの下

●パワーブラシをつけて

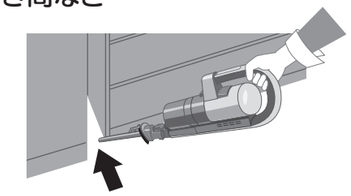


エアコン・照明器具・換気扇のフィルター



●毛ブラシをつけて

狭いすき間など



●毛ブラシ＋ロングノズルをつけて P3・13

ふとんなどの寝具

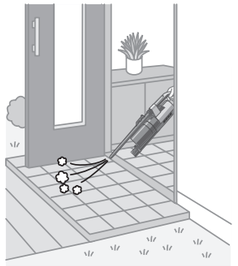
●ふとんブラシをつけて

ロングホースにふとんブラシをつけてもお掃除できます。 P13

車内・ソファーなどのすき間など

●ロングホース＋サッシノズル P13
またはサッシノズルをつけて

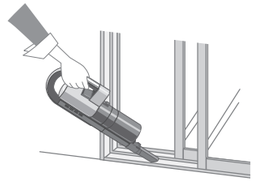
玄関



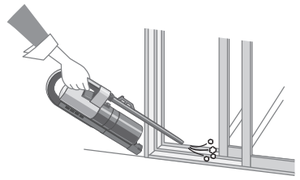
●ロングノズルをつけて、エアブロー機能でホコリを掃き出す P15

カーテンレールやサッシレールなど

●サッシノズルまたは毛ブラシをつけて



●ロングノズルをつけて、エアブロー機能でホコリを掃き出す 右記



おねがい

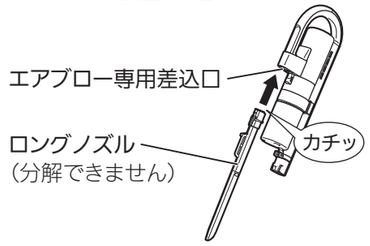
- パワーブラシは床面にゆっくり置いてください。落とすように置くと、回転ブラシが回転しないことがあります。
- パワーブラシで同じ場所をくり返しお掃除しないでください。
- パワーブラシは押しつけず、たたみの目やフローリングの目に沿ってゆっくり動かしてください。
〔車輪などで床面に跡がつく原因〕
（特にクッションフロアやひのき・杉などのデリケートな床面）
- ロングノズルやサッシノズルの吸込口をふさいでお掃除すると、お知らせランプ（赤）が点滅することがあります。
「標準」運転でお使いください。

お知らせ

- 新しいじゅうたんは、初めのうち「遊び毛」が抜けます。
- **床用ワックスなどをご使用の場合、塗布面に跡がついたり、こすれて光沢に差が出たりすることがあります。**
- お掃除中は、テレビ画面にノイズが発生することがあります。（テレビ本体に影響はありません）
- パワーブラシを砂ゴミの上で使うと、床面に跡がつくことがあります。
- じゅうたんなど床面の種類によっては、パワーブラシと床面との摩擦により、衣類の着脱時に起こるような静電気がサイクロンボックスやパイプなどに発生する場合があります。
（これはバッテリーから発生する電気ではありません）

エアブロー機能を使う

①ハンディの状態で、エアブロー専用差込口にロングノズルを差し込む



②運転を始める

を押す

- お知らせランプ（橙）が点灯し、「自動」運転で始まります。
- 切換スイッチを押すごとに、「自動」「標準」「強」運転が切換わります。
※「自動」運転を選んだ場合は、「標準」運転と同じ吸込力で運転します。吸込力は自動的に変化しません。

③運転を止める

を押す

- お知らせランプが消灯し、運転が止まります。

④ロングノズルを引き抜く

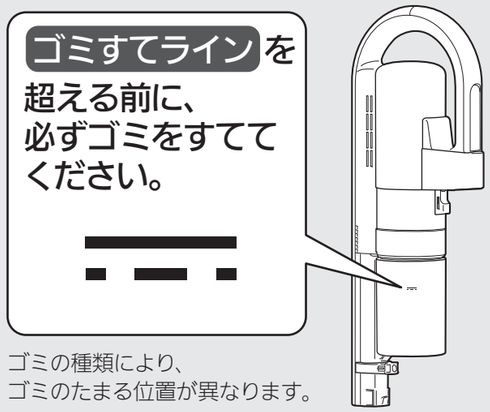
おねがい

- 吸込口から吸引しています。エアブロー機能使用時は、身につけている衣類などが吸い込まれないように気をつけてください。
- エアブロー機能を使うとホコリが舞い上がる場合があります。必要に応じて窓を開けたり、マスクを着用したりしてください。
お部屋にホコリやゴミが残った場合は、クリーナーで吸い取ってください。

お知らせ

- こびりついた汚れは取れないことがあります。
- モーターを冷却した空気を利用しているため暖かい風が出ます。
- 次の場合は吹出風が弱くなります。ダストカップのゴミをすて、お手入れしてください。 P16~19
  - ダストカップにゴミがたまり過ぎている
  - プリーツフィルター・プレフィルターが目詰まりしている

ゴミをすてる



ゴミの種類により、
ゴミのたまる位置が異なります。

ゴミすてラインを超えてからも
ゴミを吸い続けた場合
- 吸込力が低下する原因になります。
- サイクロンボックスのお手入れが必要になります。P18~19

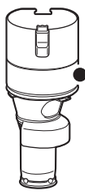
サイクロンボックス

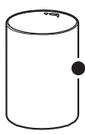
モーターガード用フィルター

プリーツフィルター
（銀ナノHEPAフィルター）

プレフィルター

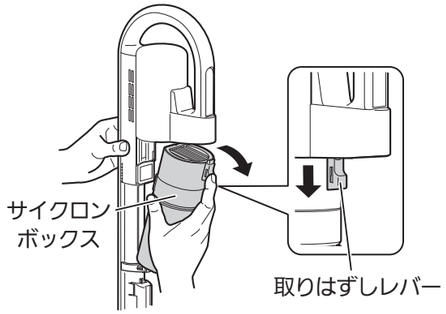
コーンメッシュ


旋回部


ダストカップ

1 本体を立てた状態でサイクロンボックスをはずす

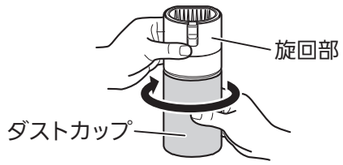
取りはずしレバーを下げながら、はずす

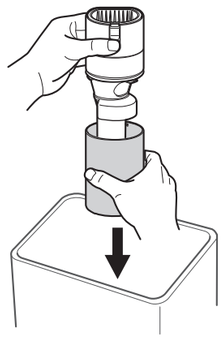


2 ダストカップをはずす

①サイクロンボックスを軽くたたく
（サイクロンボックスの内壁についたホコリが落ちます）

②ダストカップを矢印の方向に回し、旋回部からはずす

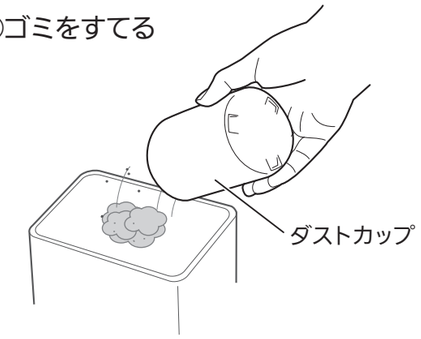




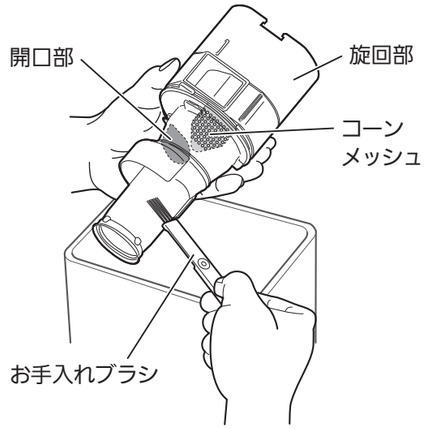
吸込力を持続させるために、お掃除ごとのゴミすてをおすすめします。

3 ゴミをすてる

①ゴミをすてる



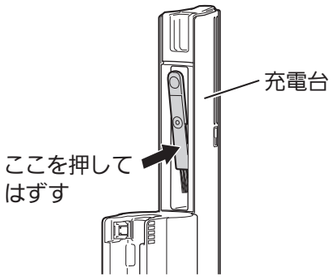
②付属のお手入れブラシでゴミを落とす



おねがい
旋回部・開口部・コーンメッシュにゴミがからんだり、詰まっている場合は、お手入れしてください。そのまま運転を続けると、保護装置が働いて運転が止まります。P26

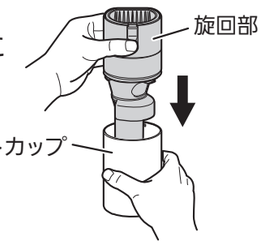
お手入れブラシ

- 付属のブラシ以外は使わない
- 使い終わったら元に戻す



4 旋回部をダストカップに確実に取りつける

①旋回部をダストカップに入れる

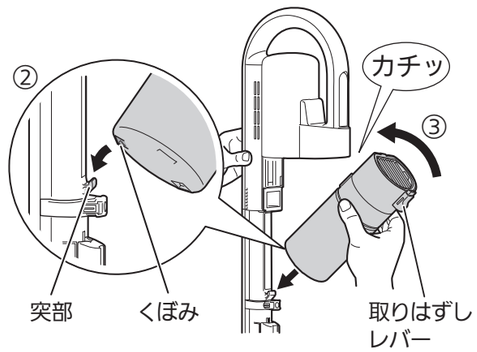


②「カチッ」と音がするまで、ダストカップを矢印の方向に回す

おねがい
プリーツフィルター・プレフィルターがはずれたときは、取りつけてください。P19

5 サイクロンボックスを確実に取りつける

①プリーツフィルター・プレフィルターが正しく取りつけられていることを確認する
②サイクロンボックス底部のくぼみを本体の突部に差し込む
③「カチッ」と音がするまで押し込む



おねがい
本体にサイクロンボックスを取りつけられないときは、ダストカップが旋回部に正しく取りつけられているか（手順**4**）を確認してください。

お手入れ

サイクロンボックス

水洗い可

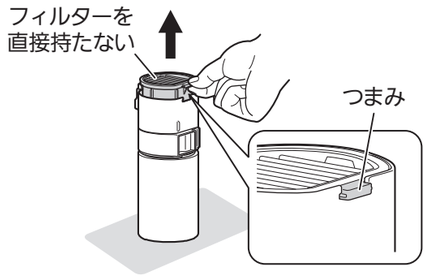
サイクロンボックスの部品は全て水洗いできます。

■お知らせランプ（赤）が点滅したとき P12、吸込力が弱くなったとき、充電してもすぐに運転が止まるとき

1 ゴミやホコリを落とす

プリーツフィルター

①つまみを持ってはずす



②新聞紙などの上で軽くたたいて裏面のゴミやホコリを落とす
（フィルターの奥にゴミやホコリが付着します）

おねがい
- お手入れブラシでこすらないでください。〔プリーツフィルターが破れる原因〕
- パッキンがはずれたときは、取りつけてください。

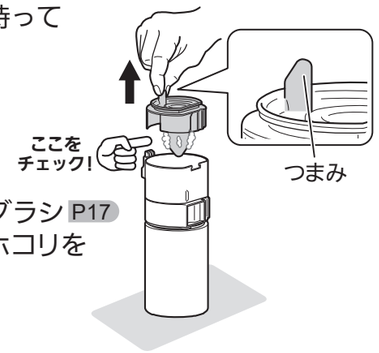
プレフィルター

①取り出す

②お手入れブラシ P17 でプレフィルター下面に付着したゴミやホコリを取り除く

コーンメッシュ

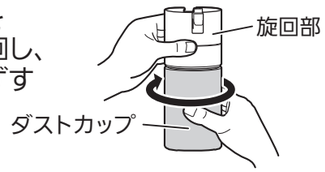
①つまみを持ってはずす



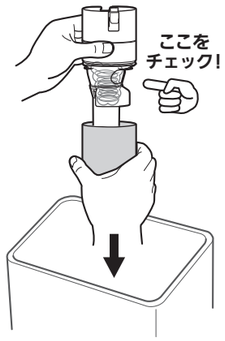
②お手入れブラシ P17 でゴミやホコリを落とす

旋回部

①ダストカップを矢印の方向に回し、旋回部からはずす

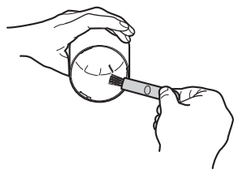


②お手入れブラシ P17 でゴミやホコリを落とす



ダストカップ

お手入れブラシ P17 でゴミやホコリを落とす

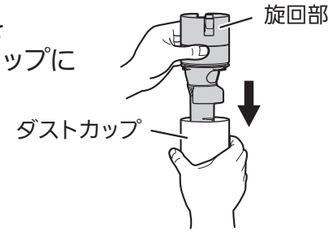


プリーツフィルターを"トントン"と軽くたたくことがポイントです。
詰まったゴミやホコリが落ちて、吸込力が戻ります。

- 新聞紙などの上に置いて、サイクロンボックスをお手入れしてください。
- パッキン類ははずさないでください。

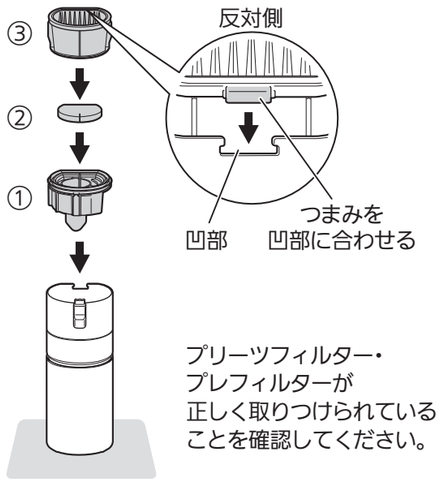
2 旋回部をダストカップに確実に取りつける

①旋回部をダストカップに入れる



②「カチッ」と音がするまで、ダストカップを矢印の方向に回す

3 ①コーンメッシュ ②プレフィルター ③プリーツフィルターの順に取りつける



プリーツフィルター・プレフィルターが正しく取りつけられていることを確認してください。

■水洗いするとき

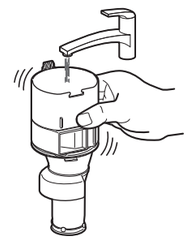
各部品のゴミやホコリを落としてから流水で洗い、陰干しで十分に乾燥させる

（十分に乾燥させないと、故障やにおいの原因になります）

①各部品のゴミやホコリを落とす P18

②水で洗う

水洗い可



③5回以上振って、よく水を切り、軽くふく

④陰干しで約1日乾かす

おねがい
- 洗剤・漂白剤・ベンジン・シンナー・アルコール・たわしなどは使わないでください。
- お湯で洗ったり、つけおき洗いをしたりしないでください。
- 洗濯機で洗ったり、暖房器具やドライヤーで乾燥したりしないでください。〔ヒビ割れや変形、変色の原因〕

- プリーツフィルター・プレフィルターは消耗部品です。お手入れしても吸込力が弱い場合は交換してください。P31
- お手入れブラシは消耗部品です。消耗したら交換してください。P31

パワーブラシ

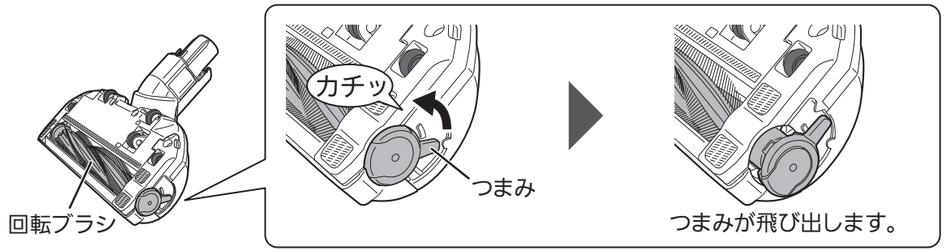
水洗い不可

パワーブラシ本体は水洗いできません。
（回転ブラシのみ水洗いできます）

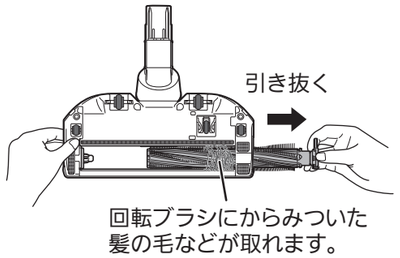
■お掃除ごとのお手入れをおすすめします。

1 回転ブラシをはずす ※必ずパイプからはずして、お手入れしてください。

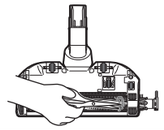
①つまみを矢印方向に回し、回転ブラシのロックをはずす



②つまみを持って、回転ブラシを引き抜く



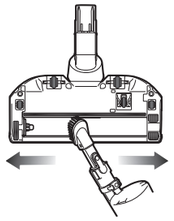
おねがい
- からみついた髪の毛などで回転ブラシが引き抜きにくい場合は、ハサミで切ってください。
- 回転ブラシをむりやり引き抜かないでください。
〔故障の原因〕

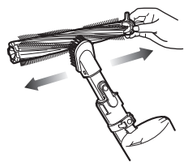


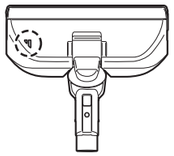
回転ブラシの植毛を切らないようにしてください。

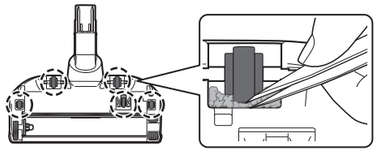
2 毛ブラシでお掃除する

〈パワーブラシ裏面〉 〈回転ブラシ〉 〈通気口〉 〈車輪（4カ所）・回転ストッパー〉









吸い取れないゴミなどは
ピンセットなどで取り除く

- 通気口にゴミがついたままだと、保護装置が動作しやすくなります。

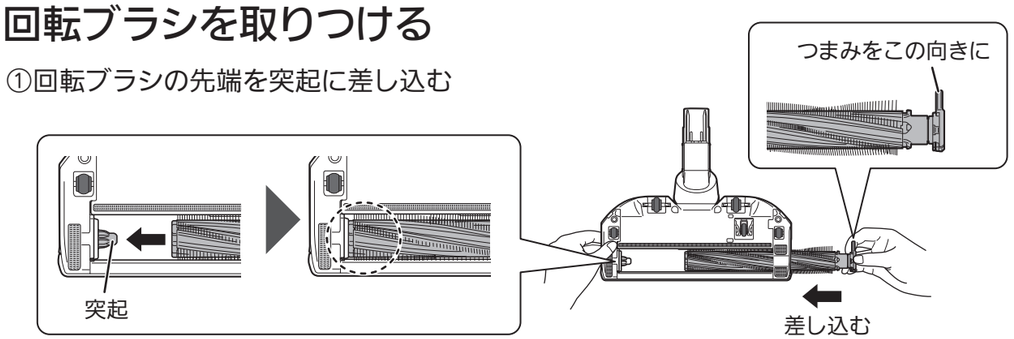
パワーブラシの保護装置について

パワーブラシのモーターの過熱を防ぐために保護装置が働いて、回転ブラシが止まることがあります。

原因	直しかた
● 毛足の長いじゅうたん・凹凸のあるじゅうたんをお掃除した ● パワーブラシをじゅうたんや床面に強く押しつけた ● 回転ブラシを回転させたまま、長時間放置した	①運転を止める ②約1分後に再度運転を始める P12
● 回転ブラシに髪の毛・異物がからんでいる ● 通気口にゴミがたまったまま使用した	①運転を止める ②パワーブラシをお手入れする

3 回転ブラシを取りつける

①回転ブラシの先端を突起に差し込む



②つまみをロックする

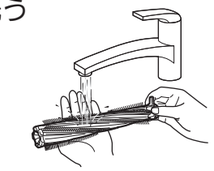
おねがい
回転ブラシを正しく取りつけてください。
〔故障の原因〕

■水洗いするとき

回転ブラシを流水で洗い、陰干しで十分に乾燥させる

①水で洗う

水洗い可



②5回以上振り、
よく水をきる

③つまみ側を下に向け、
陰干しで約1日乾かす

おねがい
- 洗剤・漂白剤などは使わないでください。
- 暖房器具・ドライヤーなどで乾燥しないでください。
- 回転ブラシに注油しないでください。
〔変形・変色・故障の原因〕

- 回転ブラシは消耗部品です。摩耗したら交換してください。P31
- 車輪・ふきブラシ・フェルト部が摩耗したら、部品交換が必要となります（有料）。
その際は、ブラシをお預かりしての修理になります。お買上げの販売店にご連絡ください。

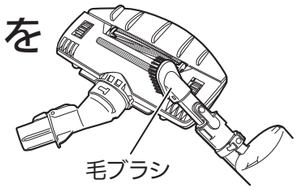
ふとんブラシ

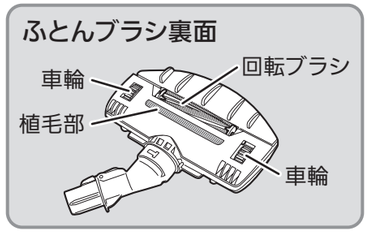
水洗い可

ふとんブラシの部品は全て水洗いできます。

■ふだんのお手入れ

裏面全体のホコリやゴミを
毛ブラシで吸い取る

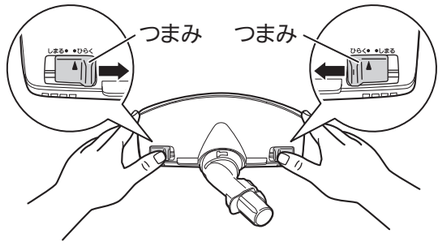




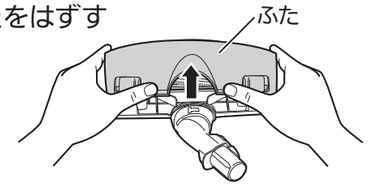
■汚れが気になったとき

1 ふたをはずす

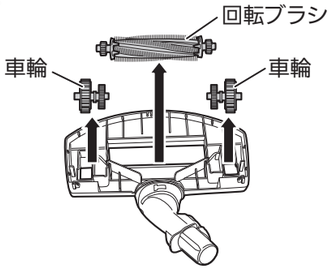
①つまみを「ひらく」までスライドさせる



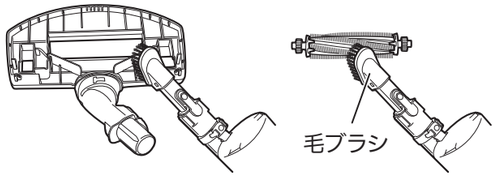
②ふたをはずす



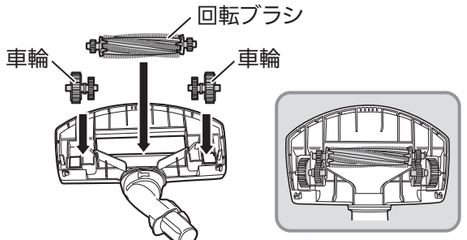
2 回転ブラシ・車輪（2個）を はずす



3 ゴミを毛ブラシで吸い取る

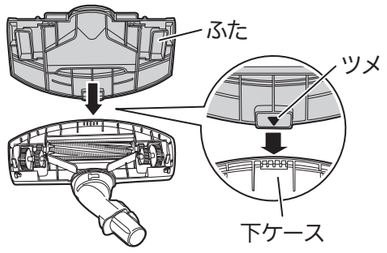


4 回転ブラシ・車輪（2個）を 取りつける

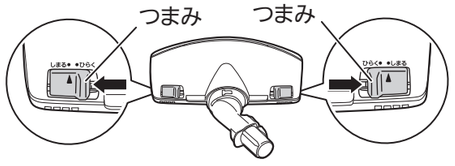


5 ふたを取りつける

①下ケース中央部にふたのツメ（▼）を
入れてから、ふたを取りつける



②つまみを「しまる」まで確実に戻す



おねがい
前側にすき間があいていないかご確認ください。
すき間がある場合は、確実に取りつけてください。
〔吸込力が弱くなる原因〕

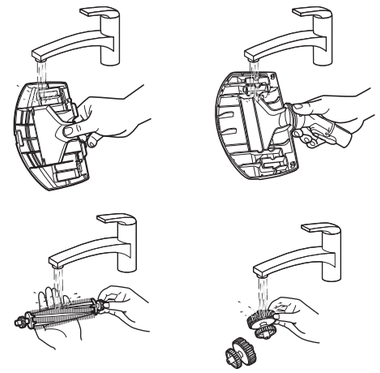
■水洗いするとき

各部品を流水で洗い、
陰干しで
十分に乾燥させる

（十分に乾燥させないと、ふとんが濡れる原因になります）

①水で洗う

水洗い可



②5回以上振って、よく水を切り、
軽くふく

③陰干しで約1日乾かす

おねがい
- ふとんブラシは、必ず分解してから水洗いしてください。
〔ふとんブラシ内部に水が残る原因〕
- 洗剤・漂白剤などは使わないでください。
- 暖房器具・ドライヤーなどで乾燥しないでください。
- 回転ブラシ・車輪に注油しないでください。
〔変形・変色・故障の原因〕

本体・充電台

水洗い不可

■汚れが気になったとき

かたくしぼった柔らかい布でふく

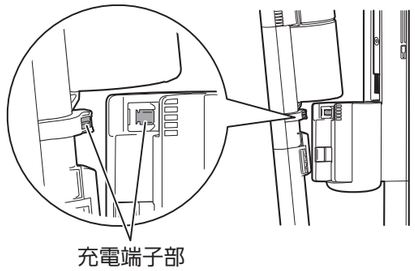
おねがい
アルコール・シンナー・ベンジンなどで
ふかないでください。〔変質や変色の原因〕

充電端子部

水洗い不可

■充電ランプが点灯しないとき、
または、ホコリや異物がついたとき

乾いた布で軽くふく



おねがい
- 水ぶきは、しないでください。
- アルコール・シンナー・ベンジンなどで
ふかないでください。
〔充電端子部が腐食して、充電ができなくなる原因〕

毛ブラシ・ロングノズル・サッシノズル

水洗い可

■汚れが気になったとき

流水で洗い、水分を切り
軽くふいてから、
陰干しで十分に乾燥させる

- ロングホースは水洗いできません。

- 回転ブラシ・車輪・毛ブラシは消耗部品です。摩耗したら交換してください。P31
- 植毛部が摩耗したら、部品交換が必要となります（有料）。
その際は、ブラシをお預かりしての修理になります。お買上げの販売店にご連絡ください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に取扱説明書をよくお読みいただき、次の点をお調べください。

当社ホームページ「よくあるご質問 FAQ」もご活用ください。
http://faq01.mitsubishielectric.co.jp/

	現象（症状）	原因の確認	処置（操作）方法	参照ページ
クリーナー	●運転できない ●運転が止まる ●運転開始後、すぐに止まる	●バッテリー残量が少なくなっていませんか。	▶充電してください。	P11
		●高温の使用環境（夏場の室内など）で連続して運転すると、バッテリーやモーターの加熱を防ぐために保護装置が働いて（お知らせランプ（赤）が点滅）、運転が止まります。涼しいところにしばらく放置してください。バッテリーやモーターが冷えて、保護装置が解除されます。		
		●プリーツフィルター・プレフィルターが目詰まりしていませんか。	▶クリーナーの保護装置が働いています。ダストカップのゴミをすて、各部品をお手入れしてください。 トン トン プリーツフィルター	P26 P16~19
		●吸込口・パイプ・パワーブラシ・ロングノズル・ロングホースにゴミが詰まっていませんか。	▶クリーナーの保護装置が働いています。ゴミを細い棒などで取り除いてください。 吸込口 パワーブラシ パイプ ロングノズル	P26
		●ふとんや衣類の圧縮袋を使用していませんでしたか。 ●ロングノズルやサッシノズルの吸込口をふさいでお掃除していませんか。	▶吸込口を密閉すると、本体に負担がかかり保護装置が働きます。ふとんや衣類の圧縮袋は使用しないでください。	P26
	異音がする	●サイクロンボックスを正しく取りつけていますか。	▶正しく取りつけてください。	P17
		●プリーツフィルター・プレフィルター・コーンメッシュ・旋回部を正しく取りつけていますか。	▶正しく取りつけてください。	P18~19
	●吸込力が弱くなった ●運転音が大きくなった ●運転音が変化する	●サイクロンボックスにゴミがたまり過ぎていませんか。	▶ダストカップのゴミをすて、各部品をお手入れしてください。	P16~19
		●プリーツフィルター・プレフィルターが目詰まりしていませんか。	▶お手入れしてください。	P18~19
		●吸込口・パイプ・パワーブラシ・ロングノズルにゴミが詰まっていませんか。	▶クリーナーの保護装置が働いています。ゴミを細い棒などで取り除いてください。	P26 上記
		●ネットフィルターがゴミなどで目詰まりしていませんか。	▶お手入れブラシ P17 で取り除いてください。 ネットフィルター	
		●ロングホースにゴミが詰まっていませんか。	▶取り除いてください。	
		●バッテリー残量が少なくなっていませんか。	▶充電してください。	P11
		●「自動」運転でお掃除中は、自動的に吸込力や運転音が変化します。異常ではありません。		P12
	「自動」運転中に吸込力が自動で変わらない	●パワーブラシを取りつけていますか。	▶パワーブラシを取りつけているときのみ、吸込力を自動でコントロールします。	P12

	現象（症状）	原因の確認	処置（操作）方法	参照ページ
パワーブラシ	回転ブラシが回らない・回りにくい	●パワーブラシが確実に差し込まれていますか。	▶確実に差し込んでください。	P8
		●パワーブラシを床面から浮かせていませんか。	▶回転ストッパーが働いています。床面につけて動かしてください。	P8
		●回転ブラシに髪の毛・異物がからんだり、通気口にゴミがたまったりしていませんか。	▶パワーブラシの保護装置が働いています。お手入れしてください。	P20~21
		●毛足の長いじゅうたん・凹凸のあるじゅうたんをお掃除していませんか。 ●パワーブラシをじゅうたんや床面に強く押しつけていませんか。 ●回転ブラシを回転させたまま、長時間放置していませんか。	▶パワーブラシの保護装置が働いています。一度運転を止めてから、約1分後に再度運転を始めてください。（パワーブラシを強く押しつけずに操作してください）	P20
におい	排気のにおいが気になる	●サイクロンボックスにゴミがたまり過ぎていませんか。	▶ダストカップのゴミをすて、各部品をお手入れしてください。	P16~19
		●プリーツフィルター・プレフィルターが汚れていませんか。	▶お手入れしてください。	P18~19
		●プリーツフィルター・プレフィルター・ダストカップを水洗いした後、十分に乾燥させていますか。	▶十分に乾燥させてください。	P18~19
熱い	本体・本体排気風が熱くなる	●夏場などは本体が熱くなることがあります。異常ではありません。		
		●モーターの熱により暖められた空気を排気しているため、熱く感じることがあります。異常ではありません。		
バッテリー	充電してもすぐに運転が止まる	●サイクロンボックスにゴミがたまり過ぎていませんか。	▶ダストカップのゴミをすて、各部品をお手入れしてください。	P16~19
		●プリーツフィルター・プレフィルターが目詰まりしていませんか。	▶お手入れしてください。	P18~19
	充電時間が長い（充電ランプが消えない）	●低温（約5℃未満）の場所では充電できない場合があります。	▶**約5℃～約35℃**の場所で充電してください。	
		●充電時間は本体の温度・周囲の環境で長くなる場合があります。（運転停止直後の充電・長い期間充電しなかったときなど）		
	運転時間が短い	●低温の場所でお掃除すると、運転時間が短くなる場合があります。		
		●満充電にした後でも、電源プラグを抜いてから数日経過すると、運転時間が短くなる場合があります。	▶満充電にした後も、電源プラグを差したままにしてください。定期的に補充電をします。	P11
		●バッテリーが劣化しています。	▶バッテリーの交換をお買上げの販売店、または「三菱電機　修理窓口」にご依頼ください。	P30

	現象（症状）	原因の確認	処置（操作）方法	参照ページ
充電ランプ	充電しても点灯しない（充電できない）	●充電台の電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでいますか。	▶しっかり差し込んでください。	P10
		●充電台にクリーナーを正しくセットしていますか。	▶本体とパイプの接続部を充電台に押し込んでください。	P11
		●充電端子部を乾いた布で軽くふいてください。		P23
	点滅（青）（充電/運転できない）	●本体もしくは充電台の故障です。使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてからお買上げの販売店、または「三菱電機 修理窓口」に修理をご依頼ください。		P30
お知らせランプ	点滅（橙または緑）	●バッテリー残量が少なくなっています。	▶充電してください。	P11
	点滅（赤）	●サイクロンボックスにゴミがたまり過ぎていませんか。	▶ダストカップのゴミをすて、各部品をお手入れしてください。	P16~19
		●プリーツフィルター・プレフィルターが目詰まりしていませんか。	▶お手入れしてください。	P18~19
		●吸込口・パイプ・パワーブラシ・ロングノズル・ロングホースにゴミが詰まっていませんか。	▶ゴミを取り除いてください。	P24
		●ロングノズルやサッシノズルの吸込口をふさいでお掃除していませんか。	▶「標準」運転でお使いください。それでも、点滅する場合は、各部品をお手入れしてください。	P18~19
		●高温の使用環境（夏場の室内など）で連続して運転すると、バッテリーやモーターの加熱を防ぐために保護装置が働いて（お知らせランプ（赤）が点滅）、運転が止まります。涼しいところにしばらく放置してください。バッテリーやモーターが冷えて、保護装置が解除されます。		

クリーナーの保護装置について（問合わせと修理を依頼される前に次のことをご確認ください）

バッテリーとモーターの過熱を防ぐために、クリーナーの吸込力が自動的に低下または停止します。
クリーナーの吸込力が低下している状態で運転を続けると、モーターがさらに加熱され、運転が止まります。

次の場合に保護装置が働きます。
- プリーツフィルター・プレフィルターが目詰まりした
- サイクロンボックスにゴミがたまり過ぎている（ゴミの種類によっては、ダストカップのゴミすてラインより少ない量でも保護装置が働くことがあります）
- 吸込口・パイプ・パワーブラシ・ロングノズル・ロングホースにゴミが詰まったまま運転した
- 吸込口や排気口をふさいで運転し続けた
- 高温環境で運転した

この状態で使い続けると、故障の原因になります。

直しかた
①運転を止める
②ダストカップのゴミをすてる P16~17
③サイクロンボックスをお手入れする P18~19
④吸込口・パイプ・パワーブラシ・ロングノズル・ロングホースにゴミが詰まっていたら、取り除く P24
⑤涼しいところにしばらく放置する
→保護装置が解除されるまでしばらくお待ちください（時間は周囲温度によって異なります）。再び保護装置が働く場合は、③を再度確認してください。

- 以上のことをお調べになって、それでも不具合があるときは、使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてからお買上げの販売店にご連絡ください。
- 修理の際は、クリーナーと充電台をセットでお預かりします。お買上げの販売店、または「三菱電機 修理窓口」にご依頼ください。

バッテリーの交換を依頼する

バッテリーは消耗部品です。くり返し使用すると使用時間は徐々に短くなります。また、周囲温度・使用時間など、ご使用の条件により充放電回数（寿命）が短くなります。正しく充電しても使用時間が著しく短くなった場合はバッテリーの寿命です。バッテリー交換をご依頼ください。

バッテリー交換の際は、クリーナーと充電台をセットでお預かりします。
お買上げの販売店、または「三菱電機 修理窓口」にご依頼ください。（有料） P30

バッテリー交換を依頼される前に知っておいていただきたいこと

資源有効利用促進法に基づき、使用済みのバッテリーは回収させていただき、一般社団法人 JBRCへリサイクルを委託させていただきます。ご協力をお願いします。

お知らせ
- バッテリーの交換は、満充放電 約2,000回※がめやすです。
- バッテリーの寿命は周囲の温度・使用頻度など、お使いの環境・条件などによって異なります。

※JEMA自主基準（HD-10）により測定。（試験方法：周囲温度20℃±5℃、「強」運転にて、バッテリーが初期容量の60%に低下するまで満充放電をくり返す試験）

⚠危険　禁止　改造・分解しない〔発熱・破裂・発火の原因〕

製品を廃棄する（バッテリーを処分する）

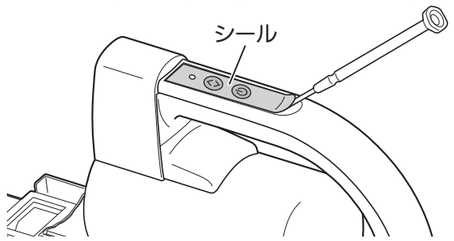
製品を廃棄するときは、以下の手順で本体内蔵のバッテリーをはずし、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
以下のホームページから全国各地のリサイクル協力店が簡単に検索できます。
一般社団法人 JBRC ホームページ　http://www.jbrc.com

＜準備するもの＞
小型マイナスドライバー・プラスドライバー・ビニールテープ（工具の取扱いに気をつけてください）

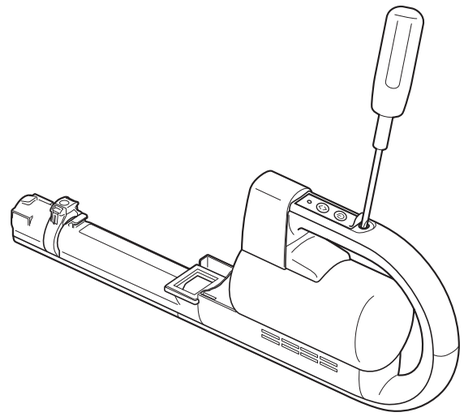
1 バッテリーを使い切る
本体操作部の ⏻ を押して運転しなければ、バッテリーを使い切っています。

2 サイクロンボックスをはずす P16

3 操作部のシールをはがす
小型マイナスドライバーをシールの下に入れて、シールをはがす



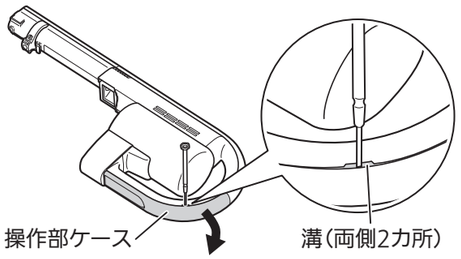
4 シール下のネジ（1本）をプラスドライバーではずす



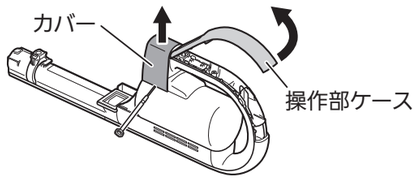
つづく

5 操作部ケース・カバーをはずす

①小型マイナスドライバーを
溝（両側2カ所）に入れてツメをはずし、
操作部ケースを上にあげる

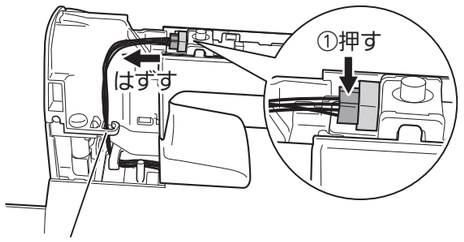


②小型マイナスドライバーを
すき間（両側2カ所）に入れてツメをはずし、
操作部ケース・カバーをはずす



6 基板のコネクターをはずす

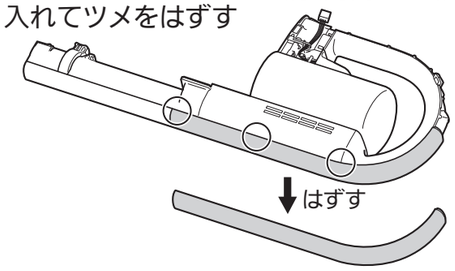
①コネクターのツメを押しながらはずす



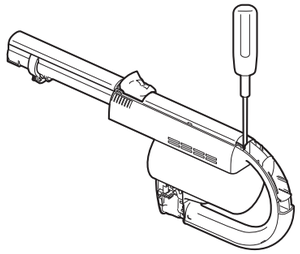
②リード線をフックからはずす

7 ハンドル下部ケースをはずす

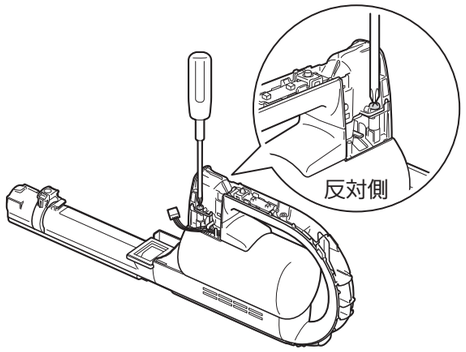
小型マイナスドライバーを溝（両側6カ所）に
入れてツメをはずす



8 ネジ（1本）を プラスドライバーではずす

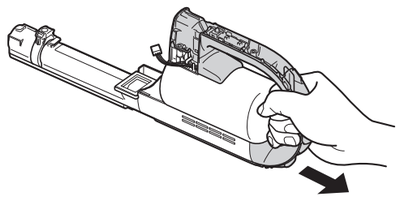


9 ネジ（両側2本）を プラスドライバーではずす

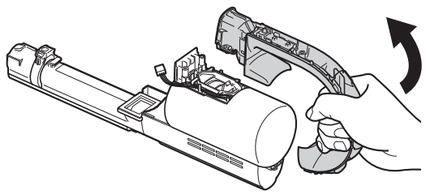


10 ハンドルをはずす

①ハンドルを手前に引く

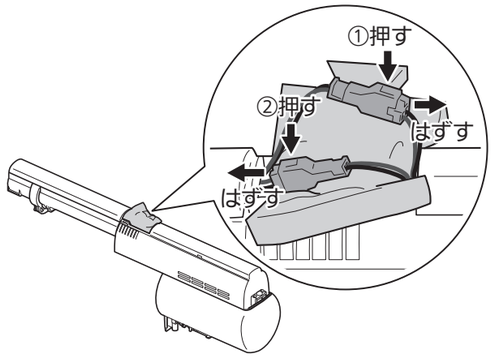


②ハンドルを上にあげてはずす

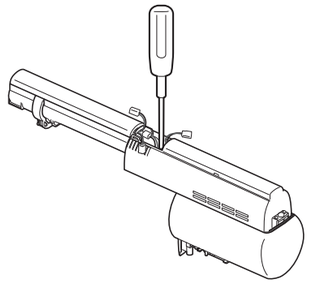


11 スポンジを開き、コネクター（2カ所）をはずす

コネクターのツメを押しながらはずす

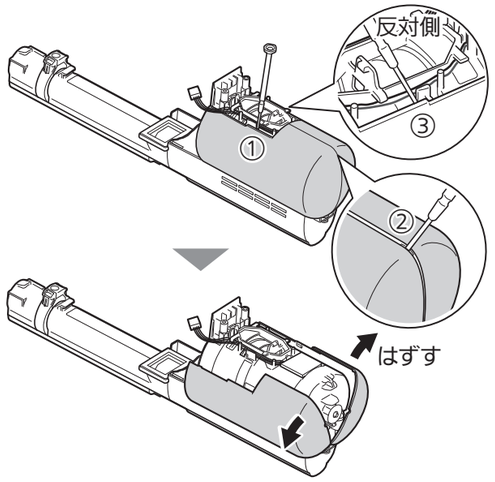


12 ネジ（1本）を プラスドライバーではずす

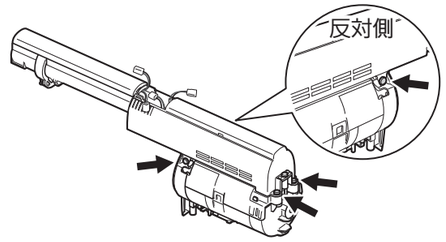


13 モーターケース（両側）をはずす

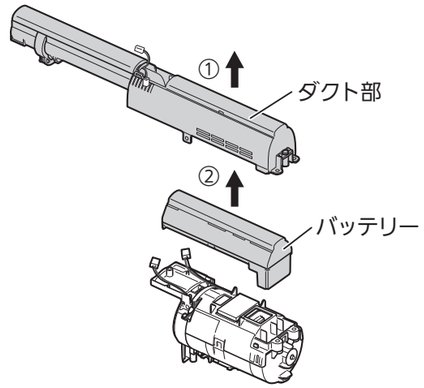
小型マイナスドライバーを溝（3カ所）に
入れて、①～③の順番でツメをはずす



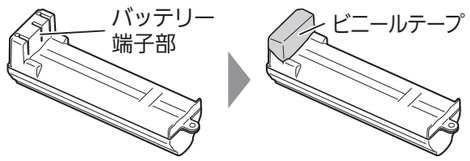
14 ネジ（4本）を プラスドライバーではずす



15 ダクト部をはずし、バッテリーを取り出す



16 バッテリー端子部にビニールテープを貼る



おねがい

- **バッテリー交換は、お客様ご自身ではできません。バッテリー交換をご依頼ください。** P27
- 取りはずしたバッテリーは、本体に再度接続しないでください。
- 廃棄するときは、バッテリーを取りはずした本体を各自治体の規則にしたがって、処分してください。

<バッテリーのリサイクルにご協力ください>

不要になったバッテリーは貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。その場合、ショート防止のために必ず端子部にビニールテープなどを貼って絶縁してください。

Li-ion20

保証とアフターサービス

■保証書（別添）

- 保証書は、必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。保証書は内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保証期間

お買上げ日から1年です。
保証期間内でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。ただし、下記の部品は消耗部品ですので、保証期間内でも有料とさせていただきます。
バッテリー・プリーツフィルター・プレフィルター・お手入れブラシ
＜パワーブラシ＞回転ブラシ・車輪・ふきブラシ・フェルト部
＜毛ブラシ＞ ＜ふとんブラシ＞回転ブラシ・車輪・植毛部

■補修用性能部品の保有期間

- 当社は、このコードレススティッククリーナーの補修用性能部品を製造打切り後6年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

- お買上げの販売店か下記の「三菱電機　ご相談窓口・修理窓口」にご相談ください。

■修理を依頼されるときは（持込修理）

●「故障かな?と思ったら」（取扱説明書記載 24～26ページ）にしたがってお調べください。

- なお、不具合があるときは、電源スイッチを切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買上げの販売店にご連絡ください。

●**保証期間中は**
保証書の規定にしたがって、修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

●**保証期間が過ぎているときは**
修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
ただし、補修用性能部品の保有期間が過ぎている場合は、修理できないことがあります。

●**修理料金は**
技術料+部品代（+出張料）などで構成されています。

- 技術料…製品の点検や故障した製品を正常に修復するための料金です。
- 部品代…修理に使用した部品代金です。

●**修理部品は**
部品共有化のため、色等を変更する場合があります。

●**ご連絡いただきたい内容**

1.品　　名　三菱コードレススティッククリーナー
2.形　　名　HC-JD2X
3.お買上げ日　　年　　月　　日
4.故障の状況　（できるだけ具体的に）

■この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

ご相談窓口・修理窓口のご案内（家電品）

取扱い・修理のご相談は、まず
お買上げの販売店へ

●お買上げの販売店にご依頼できない場合（転居や贈答品など）は、
各窓口 へお問い合わせください。

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

1.お問合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
2.上記利用目的のために、お問合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
3.あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
②法令等の定める規定に基づく場合。
4.個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

ご相談窓口　家電品の購入相談・取扱い方法

受付時間365日24時間

●三菱電機お客さま相談センター
いつもサンキュー　365日
フリーダイヤル **0120-139-365**（無料）
■ご相談対応　平　日　9：00～19：00
土・日・祝・弊社休日　9：00～17：00
上記以外の時間は受付のみ可能です。
〒154-0001　東京都世田谷区池尻 3-10-3

携帯電話・PHSの場合
ナビダイヤル TEL **0570-077-365**（有料）
ナビダイヤル FAX **0570-088-365**（有料）
フリーダイヤル・ナビダイヤルをご利用いただけない場合は
TEL 03-3414-9655　FAX 03-3413-4049

修理窓口　家電品の修理の問合せ・修理の依頼

受付時間365日24時間

●三菱電機修理受付センター
フリーダイヤル **0120-56-8634**（無料）
パソコン・スマートフォン **http://www.melsc.co.jp**
フィーチャーフォン 空メールの送り先：**fc8634@melsc.jp**
または2次元コードからアクセス。URLをメール返信します。

携帯電話・PHSの場合
ナビダイヤル TEL **0570-01-8634**（有料）
ナビダイヤル FAX **0570-03-8634**（有料）

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。
●電話番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

K18A

消耗部品

お近くの三菱電機ストアか取扱店でお求めください。

プリーツフィルター（銀ナノHEPAフィルター）	プレフィルター	お手入れブラシ	毛ブラシ
部品番号：M11 F01 260	部品番号：M11 F01 349	部品番号：M11 E11 183	部品番号：M11 F13 409S
お手入れしても吸込力が弱い場合は交換してください。	お手入れしても吸込力が弱い場合は交換してください。		

パワーブラシの回転ブラシ	ふとんブラシの回転ブラシ	ふとんブラシの車輪
部品番号：M11 F15 490M	部品番号：M11 E60 490M	部品番号：M11 E59 111F

＜抗菌について＞

部品名	抗菌の確認試験機関名	試験方法	試験結果	抗菌の方法	抗菌の処理を行なっている部品名称
プリーツフィルター（銀ナノHEPAフィルター）	（一財）ボーケン品質評価機構	JIS L 1902に基づく	99%以上	フィルター材に含浸	ひだ折り不織布
パワーブラシ	（一財）ボーケン品質評価機構	JIS Z 2801に基づく	99%以上	プラスチックに練り込み	回転ブラシ
ふとんブラシ	（一財）ボーケン品質評価機構	JIS Z 2801に基づく	99%以上	プラスチックに練り込み	回転ブラシ

仕様

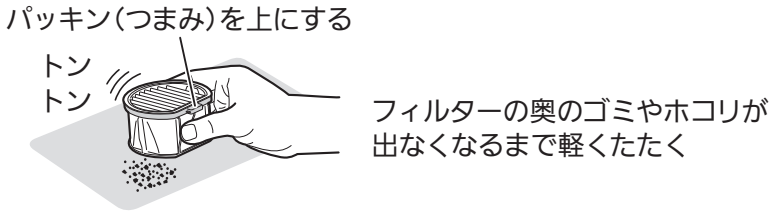
	形名	HC-JD2X
クリーナー	電源方式	充電式リチウムイオンバッテリー
	充電時間	約90分 ※室温やバッテリー残量によって変化します。
	連続運転時間	自動：約8分～約40分/標準：約40分/強：約8分（バッテリー初期・室温20℃・満充電の場合） ※ご使用方法や周囲の環境によって変化します。
	集じん容積	0.25L（ゴミすてラインまで）
	標準付属品	パイプ・パワーブラシ
	応用付属品	毛ブラシ・ロングノズル・ふとんブラシ・サッシノズル・ロングホース・付属品収納袋・お手入れブラシ（充電台装着品）
	クリーナー質量	1.9kg（パイプ・パワーブラシ含む）
	クリーナー寸法	幅225mm×奥行き190mm×高さ1005mm
充電台	電源	入力：AC100V 50-60Hz 120VA 出力：DC26V 2A
	消費電力	60W
	待機時消費電力	0.8W ※本体充電完了後の消費電力です。
	充電台質量	2.4kg
	充電台寸法	幅270mm×奥行き270mm×高さ817mm
	電源コードの長さ	1.8m
収納状態寸法（クリーナーを充電台にセットした状態）		幅270mm×奥行き270mm×高さ1020mm
総質量（クリーナー・充電台含む）		4.3kg
印刷物		保証書・取扱説明書

長くお使いいただくために、ご確認ください。

■お知らせランプ（赤）が点滅する
■運転中に吸込力が弱くなる、運転が止まる
■充電してもすぐに運転が止まる

- ダストカップのゴミをすて、サイクロンボックスの全ての部品をお手入れしてください。P16~19

お手入れのポイントは、プリーツフィルターを"トントン"と軽くたたくことです。



- サイクロンボックスのお手入れ後、プリーツフィルター・プレフィルターのつけ忘れはありませんか。
  ➡必ずプリーツフィルター・プレフィルターを取りつけてから運転してください。P19

- 吸込口・パイプ・パワーブラシ・ロングノズル・ロングホースにゴミが詰まっていませんか。
  ➡ゴミを取り除いてください。P24

■ゴミを吸いにくいとき、パワーブラシの操作がしにくいとき

- パワーブラシをお手入れしてください。P20~21

お客さま便利メモ（お買上げの際に記入されると便利です）

お買上げ販売店名	お買上げ日
電　話　　（　　）	年　　月　　日

愛情点検

★長年ご使用のコードレススティッククリーナーの点検を！

こんな症状はありませんか	●スイッチを入れても、運転しない ●電源プラグやコードを動かすと、通電したりしなかったりする ●運転中、時々止まる ●運転中、異常な音がする ●本体が変形したり、異常に熱い ●こげくさいにおいがする ●その他の異常や故障がある	ご使用中止	事故防止のため、スイッチを切り、電源プラグを抜いてから、販売店に点検・修理をご相談ください。

三菱電機株式会社
三菱電機ホーム機器株式会社
〒369-1295　埼玉県深谷市小前田1728－1

ZT911Z609H05